

科目名	芸術(音楽)Ⅰ Art(Music)Ⅰ			担当教員	漆原 美紀 (窓口教員：坂本具償)		
学 年	1 年	学 期	後期	履修条件	必修	単位数	1
分 野	一般	授業形式	講義・実技・観賞	科目番号	17120011	単位区分	履修単位
学習目標	1・2年次の2年間を通じて、音楽に関する理論的な基礎知識や西洋音楽史を学び、できるだけ多くの作品に接し、その時代背景や当時の社会・文化を理解した上で、楽器演奏を通じて基礎的表現力を身につける。観賞では、様々なジャンルのプロの音楽家の生の演奏も体感し、音楽教養を通して創造力に富む有為な人材の育成を目標とする。						
進め方	教科書・プリント・楽器・CD・DVD等を用いて講義を進め、音楽の講義・視聴・楽器演奏を通じて授業内容の理解や応用力を高める。適時、演習を実施し、理解度を確認する。						
学習内容	学習項目(時間数)			学習到達目標			
	※ガイダンス(1) 1.鑑賞(5) (1)プロの演奏家の演奏鑑賞(1) (2)ミュージカル・オペラ・音楽映画(4)			音楽文化に対する総合的な理解を深め、その良さや美しさを感じ取ることができる。 (A-1)			
	2.リコーダー(8) (1)リコーダーの運指法・楽譜の解説(1) (2)旋律・副旋律の練習(3) (3)アンサンブル(4)			基本的な演奏技能を向上させ、楽譜に忠実に表現豊かに演奏することができる。 アンサンブルの場合、全体のバランスや調和を感じ取ることができる。 (A-1)			
	3.ギター(8) (1)ギターの基礎(1) (2)ギターの運指法・奏法(1) (3)独奏(5)			フレージングと全体のまとまりをとらえ、曲想に合った演奏ができる。 弦楽奏の音色と響きを感得できる。 (A-1)			
	4.音楽理論(7) (1)音(2) (2)譜表と音名(1) (3)音符と休符(1) (4)リズムと拍子(1) (5)音程・音階(2)			音楽に関する基礎的な知識(音符・休符・音名・拍子・音程・用語)や法則を理解できる。 (A-1)			
	試験返却(1)						
評価方法	通常の授業の中で、授業内容が理解できているかの確認テスト行う。 筆記試験 50%・実技試験 50%として評価する。						
履修要件	特になし						
関連科目	芸術(音楽)Ⅰ→芸術(音楽)Ⅱ						
教 材	教科書；「MOUSA①」 教育芸術社						
備 考	単位追認試験、再試験は、適切な時期に実施する。						